

学習評価・進路について

南港北中学校



評定がどう変わったのか？

相対評価

学年全体か
らの評価



目標に準拠
した評価

生徒ひとり
ひとりの
評価



観点について

学習評価の基本的考え方

- ・観点別学習状況の評価（今までも実施）
学力を4つ（国語は5つ）の観点で
評価（ABC）をおこないます。

I 関心・意欲・態度・主体的取組

II 思考・判断・表現・課題解決能力

III 技能

IV 知識・理解

基礎的基本的

知識・技能

- ・観点は3段階（ABC）評価

A 十分満足できる

B おおむね満足できる

C 努力を要する



評価の客観性について

評価については、客観的なデータを用い、さまざまな資料に基づいて、ABCを評価します。



「C」については「手立て」などを考えつつ、
本人・教師・保護者で改善していく。
(評価によって改善するきっかけにする)



評定の決定方法①

関心・意欲・態度以外の各観点別評価(ABC)
をもとにして 評定を決定します。



観点別評価によって、評定が定まります。
評定は(54321)の5段階です。
この評定は調査書に使われます。
関心・意欲・態度は、特筆すべき事項を調査
書に文章表記します。

評定の決定方法②

◎府の統一基準

○1・2年生の評定

H29年1月12日に実施するチャレンジテストをもとに
府教委が各学年の「評定の範囲」を示す

→各校がそれぞれの学年の評定を定める際、
個人のチャレンジテストの結果が「評定の範囲」に
あることを確認して評定を確定

○3年生の評定

3年生全員が6月23日に受験するチャレンジテストの
平均点をもとに府教委が「各校の評定平均」を決定

→各校は、3年生全員の全教科の評定の平均が
「各校の評定平均」の範囲に収まるように
各生徒の個人の評定を決定



評定の決定方法③

◎大阪市の方針

府の統一基準に従い学校ごとに定められる
「評定平均の範囲」内で評定を確定する

+

- ① 5教科の「大阪市統一テスト」を3年生の2学期（10月6日）に実施する
- ② ①のテストで、各教科ごとに、上位6%は必ず「5」、上位18%は「4以上」、39%は「3以上」を与える

公立高校入試制度の変更

昨年から入試制度は大幅に変更になりました。
主な変更点

- ・主な高校は1回のみ受験になります。
- ・1校で複数志望が可能になります。
- ・自己申告書を必ず書きます。
- ・調査書の配点が変わり、「活動／行動の記録」欄が加わります。
- ・各高校がアドミッションポリシー（求める生徒像）を発表します。
- ・合格者の決定方法が変わります。
- ・英語の試験が変更になります。（H29年度より）

自己申告書

自己申告書をすべての受験者が出すことになります。

自己申告書は、例えば『中学校生活でどんな経験をし、何を学びましたか。またそれをどのように高校生活に活かしたいと思いますか。』などのテーマで記入します。10月頃に府教委がテーマを示します。



調査書の配点

- ・9教科一律で通知票の点数(5段階)
- ・学力検査と調査書の評定の比
3:7 ~ 7:3 の5パターン。

※今年の3年生は2・3年の評価を利用

2年評価 : 3年評価 = 1:3

現2年生からは1～3年の評定を利用

1年評定:2年評定:3年評定 = 1:1:3



アドミッションポリシー

- ・各高校がアドミッションポリシー『求める生徒像』を発表します。
- ・ボーダーゾーンの生徒のうち、アドミッションポリシーに合致する生徒を優先して合格にします。
- ・自己申告書の内容、調査書の『活動・行動の記録』から判定されます。



活動／行動の記録

各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、部活動等、校内での日常生活を含む活動及び行動の記録を具体的に記載します
(例) 学習意欲旺盛で、宿題やノートなどの提出物は必ず提出した。
読書が趣味で、図書館の貸し出し冊数は3年間で70冊にのぼる。
入学時から活動している〇〇部において2年の10月から主将となり部員をまとめるなどリーダーシップを発揮した。

「英語の」学力検査問題が変わります。

- ①学力検査問題で使用する英単語は、府教委が作成する「英単語集」から出題します。(府教委のHP参照)
- ②学力検査の「発展的問題」は、問題文のすべてを英語で作成します。

※「国語・数学・英語」の学力検査問題は、次の中から高校ごとに選びます。

- ・特別選抜：2種類(基礎的問題・標準的問題)
- ・一般選抜：3種類(基礎的問題・標準的問題・発展的問題)



「英語の」学力検査で外部検定のスコア等に応じた点数保障を導入します。

TOEFL iBT	IELTS	英検		読み 替え率		特別 選抜 (45点 満点)	一般 選抜 (90点 満点)
60点～120点	6.0～9.0	準1級		100%		45点	90点
50点～59点	5.5	(対応 無し)	⇒	90%	⇒	41点	81点
40点～49点	5	2級		80%		36点	72点

※当日の学力検査の点数が、保障する点数を上回る場合は、学力検査の点数が採用されます。

平成29年度公立高等学校入学者選抜の日程

1. 特別選抜(全日制の課程専門学科)

- ・工業に関する学科(建築デザイン科等、美術科、体育に関する学科、芸能文化科、演劇科及び総合造形科)

出 願	学 力 検 査	実 技 検 査	合格者発表
2月14日(火)及び 2月15日(水)	2月20日(月)	2月21日(火)	2月28日(火)

- ・音楽科

出 願	視唱、専攻実技	学力検査、聴音	合格者発表
2月1日(水)及び 2月2日(木)	2月12日(日)	2月20日(月)	2月28日(火)

2. 特別選抜(エンパワメントスクール)

出 願	学 力 検 査	面 接	合格者発表
2月14日(火)及び 2月15日(水)	2月20日(月)	2月21日(火)	2月28日(火)

3. 一般選抜

出 願	学 力 検 査	合 格 者 発 表
3月2日(木)、3月3日(金) 及び3月6日(月)	3月9日(木)	3月17日(金)

